日日是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年6月26日月曜日

CohereのCo.GenerateをOracle APEXから呼び出してみる

以前にCohereのCo.Classifyを呼び出すAPEXのアプリケーションを作成しました。こちらの記事です。同じアプリケーションに、Co.GenerateのAPIを呼び出すページを作ってみました。

CohereのCo.GenerateのAPIの説明はこちらです。

作成したページで、ExamplesのAd Copy AIDA Frameworkを呼び出してみます。



すでにCo.Classifyの実装が済んでいるところから始めます。

新しいページの名前をGenerate、ページ番号3として作成します。

ページの作成をクリックします。



フォームを選択します。



ページ番号は3、名前はGenerateとします。ページ・モードは標準です。

データ・ソースはローカル・データベース、ソース・タイプとしてSQL問合せを選択し、SQL SELECT文を入力に以下を記述します。ページ・アイテムを作成するためのSELECT文で、フォームのソースとしては使いません。

```
select
    0 as "ID"
    ,'this column is for prompt string that should be long enough to reserve max string size' a
    ,'command' as "MODEL"
    ,1 as "NUM_GENERATIONS"
    ,20 as "MAX_TOKENS"
    ,'' as "PRESET"
    ,0.75 as "TEMPERATURE"
    ,0 as "K"
    ,0.75 as "P"
    ,0.0 as "FREQUENCY_PENALTY"
    ,0.0 as "PRESENCE_PENALTY"
    ,'[]' as "END_SEQUENCES"
    ,'[]' as "STOP_SEQUENCES"
    ,'NONE' as "RETURN_LIKELIHOODS"
    ,'{}' as "LOGIT_BIAS"
    ,'END' as "TRUNCATE"
    ,'N' as "STREAM"
from dual;
                                                                                          view raw
cohere-generate-source.sql hosted with ♥ by GitHub
```

ナビゲーションはデフォルトのまま、ブレッドクラムとナビゲーションの双方を生成します。

次へ進みます。



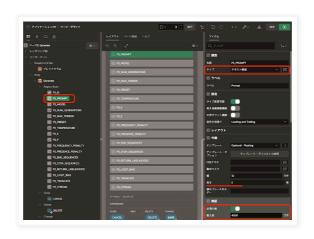
主キー列1としてID(Number)を選択します。ブランチ・ページの送信時にここにブランチ、取り消してページに移動の双方に、自分自身であるページ番号3を指定します。

ページの作成をクリックします。



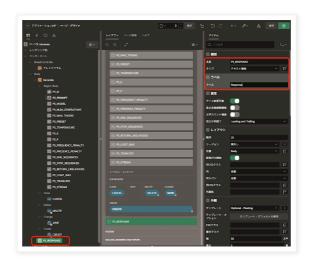
フォームのページが作成されます。最低限必要な調整を行います。

ページ・アイテムP3_PROMPTを選択し、識別の**タイプ**をテキスト領域に変更します。検証の**必須の値をオン、最大長**を4000とします。



Co.Generateのレスポンスを保持するページ・アイテムとして、P3_RESPONSEを作成します。

識別の名前はP3_RESPONSE、タイプはテキスト領域、ラベルはResponseとします。



レスポンスに含まれる生成された文字列を一覧する、対話モード・レポートを作成します。

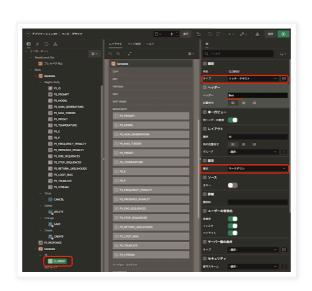
リージョンを作成し、**識別のタイトル**を**Generate**とします。**タイプ**として**対話モード・レポート**を選択します。**ソースのタイプ**として**SQL問合せ**を選択し、**SQL問合せ**に以下を記述します。

select clob001 from apex_collections where collection_name = 'GENERATE'



Cohereが生成した文字列には改行が含まれています。改行を認識させるため、列CLOB001のタイプをリッチ・テキストに変更し、設定の書式としてマークダウンを選択します。

ヘッダーは**Text**に変更します。



Co.GenerateのAPIを呼び出すコードを記述します。

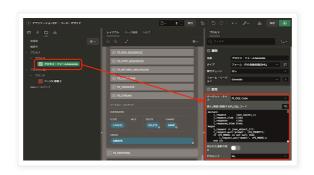
左ペインでプロセス・ビューを表示し、プロセス・フォームGenerateを選択します。

設定の**ターゲット・タイプ**を**PL/SQL Code**に変更し、**挿入/更新/削除するPL/SQLコード**として以下を記述します。

```
declare
    l_request
                  json_object_t;
    l_request_clob clob;
    l_response clob;
    l_response_blob blob;
begin
    l_request := json_object_t();
    l_request.put('prompt', :P3_PROMPT);
    if :P3_MODEL is not null then
        l_request.put('model', :P3_MODEL);
    end if;
    if :P3_NUM_GENERATIONS is not null then
        l_request.put('num_generations', to_number(:P3_NUM_GENERATIONS));
    end if;
    if :P3_MAX_TOKENS is not null then
        l_request.put('max_tokens', to_number(:P3_MAX_TOKENS));
    end if;
    if :P3_PRESET is not null then
        l_request.put('preset', :P3_PRESET);
    end if;
    if :P3_TEMPERATURE is not null then
        l_request.put('temperature', to_number(:P3_TEMPERATURE));
    end if;
    if :P3_K is not null then
        l_request.put('k', to_number(:P3_K));
    end if;
    if :P3_P is not null then
        l_request.put('p', to_number(:P3_P));
    end if;
    if :P3_FREQUENCY_PENALTY is not null then
        l_request.put('frequency_penalty', to_number(:P3_FREQUENCY_PENALTY));
    end if;
    if :P3_PRESENCE_PENALTY is not null then
        l_request.put('presence_penalty', to_number(:P3_PRESENCE_PENALTY));
    end if;
    if :P3_END_SEQUENCES is not null then
        l_request.put('end_sequences', json_array_t.parse(:P3_END_SEQUENCES));
    end if;
    if :P3_STOP_SEQUENCES is not null then
        l_request.put('stop_sequences', json_array_t.parse(:P3_STOP_SEQUENCES));
    end if;
    if :P3_RETURN_LIKELIHOODS is not null then
        l_request.put('return_likelihoods', :P3_RETURN_LIKELIHOODS);
    end if;
```

```
if :P3_LOGIT_BIAS is not null then
        l_request.put('logit_bias', json_object_t.parse(:P3_LOGIT_BIAS));
    end if;
    if :P3_TRUNCATE is not null then
        l_request.put('truncate', :P3_TRUNCATE);
    end if;
    if :P3_STREAM is not null then
        if :P3\_STREAM = 'Y' then
            l_request.put('stream', true);
       else
            l_request.put('stream', false);
        end if;
    end if;
    l_request_clob := l_request.to_clob();
    apex_debug.info('Co.Generate Request: %s', l_request_clob);
    apex_web_service clear_request_headers;
    apex_web_service.set_request_headers('Accept', 'application/json', p_reset => false);
    apex_web_service.set_request_headers('Content-Type','application/json', p_reset => false);
    l_response_blob := apex_web_service.make_rest_request_b(
        p_url => 'https://api.cohere.ai/v1/generate'
        ,p_http_method => 'POST'
        ,p_body => l_request_clob
        ,p_credential_static_id => 'COHERE_API'
    );
    -- 応答は整形して表示する。
    select json_serialize(l_response_blob returning clob pretty) into l_response from dual;
    :P3_RESPONSE := l_response;
    -- 生成されたテキストをAPEXコレクションに投入する。
    apex_collection.create_or_truncate_collection('GENERATE');
    for r in (
        select id, text from json_table(l_response, '$.generations[*]'
            columns
            (
                id varchar2(80) path '$.id'
                ,text clob path '$.text'
        )
    )
    loop
        apex_collection.add_member(
            p_collection_name => 'GENERATE'
            ,p_c001 => r.id
            ,p_clob001 => r.text
        );
    end loop;
end;
```

失われた更新の防止はオフ、行のロックはNoに変更します。



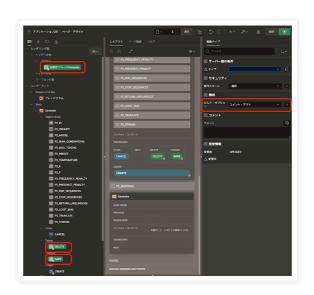
以上でアプリケーションとしては動作します。

動作や見た目を調整します。

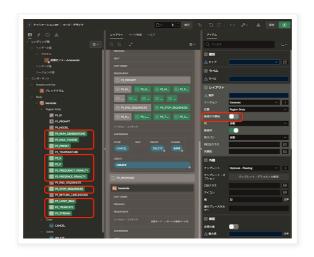
フォーム**Generate**の**属性**を開き、**編集の実行可能な操作**より**行の更新**と**行の削除**のチェックを外します。このフォームには、行の更新と削除は実装していません。



プロセス**初期化フォームGenerate**、ボタン**DELETE**、ボタン**SAVE**を選択し、**ビルド・オプション**で**コメント・アウト**します。これらの機能も使われることはありません。



ページ・アイテムP3_NUM_GENERATIONS、P3_MAX_TOKENS、P3_PRESET、P3_K、P3_P、P3_FREQUENCY_PENALTY、P3_PRESENCE_PENALTY、P3_STOP_SEQUENCES、P3_LOGIT_BIAS、P3_TRUNCATE、P3_STREAMを選択し、レイアウトの新規行の開始をオフにします。



以上でページの調整も完了です。

作成したアプリケーションを実行すると、本記事の先頭のGIF動画のように動作します。

作成したアプリケーションのエクスポートとして、以前のエクスポートを更新しています。 https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/sample-cohere-api.zip

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 14:11

共有

☆――△

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。 こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.